

指定管理者年度評価シート(令和6年度)

1 施設の概要

施設名称	盛岡市総合交流ターミナル	所在地	盛岡市下田字生出 893番地11
施設の設置目的・概要	農村資源を活用した都市との交流を推進することにより、地域の活性化を図るとともに、市民の保健及び休養と交流の場を提供する施設		
建物・設備の概要	構造 木・亜・二・一部鉄骨 敷地面積 34,245.45㎡ 延床面積 2,874.52㎡ 施設内容 研修室、食堂、クアハウス、宿泊室、食工房、トイレ他	設置年月日	平成10年4月1日

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	たまやま振興株式会社	所管課名	産業振興課
指定期間	令和7年4月1日から令和11年3月31日		
指定管理業務の内容	(1) 事業に関すること。 ア 施設の開館時間の変更 イ 臨時に休館すること ウ 施設の利用予約受付及び使用許可業務を行なう。 ・使用許可申請書の受付 ・使用の許可、不許可、許可の取消し等 ・ターミナルからの退去を命ずること エ 業務報告書の作成(月次、年次)を行なう。 オ 市民の保健及び休養と交流を促進するために必要な飲食等の提供に関すること(自動販売機での提供を含む)。 (2) 施設、設備及び備品(以下「施設等」という。)の維持管理に関すること。 ア 施設内外の清掃を行なうこと。 イ 床・ガラスの清掃を行なうこと。 ウ 除雪(随時) エ 除草を行うこと。 オ 施設等の維持管理を行なうこと。 (3) その他ターミナルの管理において必要な業務に関すること。	指定管理料(千円)	R6 36,700 千円
制度導入によって目指す施設の姿	(1) 地域密着型の施設として知識、経験、機動力などを活用し、施設の効率的な管理とサービスの向上を図ること。 (2) 施設の効率的な管理運営を行い、管理運営費の縮減に努めること。 (3) 個人情報の管理を徹底すること。		

3 評価

(1) 数値目標に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の平等使用の確保				
サービスの向上	利用料収入	142,000	149,300	A
管理経費の縮減	販売費および一般管理費	150,500	150,138	A
適正な管理運営	営業利益(損失)	-33,000	-26,132	A

(2) 管理運営に対する評価

項目	自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか？	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか？	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか？	A

項目		自己評価	設置者評価
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか？	A	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか？	A	A
	利用者の立場に立った対応をしているか？	A	A
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか？	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか？	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か？	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か？	B	B
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか？	B	B
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか？	A	A

(3) 年度評価(数値目標及び管理運営(設置者評価)における評価結果を基に算定)

A

(4) 特記事項

令和6年度は小さな企業・温泉館なりの戦い方に徹し、持っている経営資源を最大限活かすことを考え、会社として総合的な実力の向上に努めて参りました。これまで行っていたものを継続しつつ、魅力的な施設になるよう様々な取組を行い、大幅に売上高及び利益を増加することが出来ました。総売上高は4部門すべてが目標を上回り、目標対比105.3%を達成することができ、経常利益は計画目標の5,091千円を上回り、15,763千円となりました。

クアハウス部門は、盛岡市民割・きんりん割、回数券特別販売を継続、盛岡市民割は昨対119.3%、きんりん割は昨対123.2%としており、回数券特別販売も昨対121.8%と売上数を伸ばしております。11月からは料金改定(値上げ)を行いました。利用者減も懸念されましたが、料金改定後も利用者の増加傾向は続きました。イベントとして夏季に『冷やしシャンプー』11月には敷地内のカリンを使用した『カリン風呂』を行い、お客様に大変喜ばれました。4・11月には例年通り安心・安全対策としてメンテナンスを実施しました。また、盛岡市事業として盛岡市産材を使用したサウナ室改修を行っていただきヒノキ香るサウナとしてご好評をいただいております。結果として入浴者数は前期比で11,924人増、総売上高は前期比で9,340,560円増となりました。

産直部門は、前期に続き、産直商品・業者・食工房すべてで総売上高を上回ることができました。中でもスイーツは和洋様々な商品を販売し、売上を伸ばすことができました。今期1年のみの活動となった「まほら岩手」も焼き菓子の販売などで売上に貢献いただきました。花卉販売も前期同様に春・秋彼岸とお盆・正月に花卉セールを開催し売上を伸ばしております。11月からは条例改正し、産直・食工房の販売手数料を15%に改定しております。結果として総売上高は前期比で6,811,756円増となりました。

※評価基準

数値目標に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上, 130%未満
B	達成率 60%以上, 90%未満
C	達成率 60%未満

管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている。
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている。
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある。

年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである。
AA	評価項目全てがA以上である。
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている。※ただし、Cが1つ以上ある場合はC評価
B	評価項目にBが半数を超えている。※ただし、Cが1つ以上ある場合はC評価
C	評価項目にCが含まれている。